

KOCV news

http://kocv.jp e-mail:info@kocv.sakura.ne.jp

新人の季節がやってきました

西山英治(H7-3 コスタリカ)

新人にはいつまでも謙虚さを持ち続けて欲しいです。謙虚さが無ければ、暗闇の中でもがき続ける事になるかもしれません。例えば、装置が正常に動作してくれないとき、配線ミスがあるかもしれません。お呪いをして、お祈りをして、配線ミスを正しい接続にしなければ永遠にその装置は正常に動作してくれないのです。相手が装置でなく、人間でも、大自然でも自分自身が謙虚でなければ見えるものも見えないのです。もちろん謙虚さだけでは生きていけませんので、心の窓を開けてなんにでも挑戦してみてください。

やまと国際交流フェスティバル

長谷川 真(S63-1 ペルー)

先日は、悪天候の中、やまと国際交流フェスティバルにご協力いただきまして、誠にありがとうございます。おかげさまで、大和市の多文化共生を促進するため、国際交流の場を提供するという目的は達成することができました。今後も地域社会への貢献のため、ご協力くださいますようよろしくお願い申し上げます。

●ステージ部門の報告

小島海治(H10-1 トンガ)

<実施内容>

- ・神奈川県立大和西高校吹奏楽部による演奏
- ・西東京朝鮮第二初級学校の生徒による舞踊と演奏
- ・外国人のど自慢大会
- ・各国民族衣装によるファッションショー
- ・フラダンスグループ「カホロ」によるフラダンス
- ・柏木学園の生徒による詩吟と書道のパフォーマンス
- ・バリ舞踊グループ「バスター」によるバリダンス
- ・FMやまとスタッフによるDJ
- ・プロボーカルグループ「ロス カリブス」によるステージ

<参加者>

- ・ステージスタッフ 実行委員7名・当日ボランティア8名・出演者93名・音響2名・ステージ観客のおおよその数60名・スタッフ合計170名

<運営について>

当日は突風が吹くまじに嵐の天候であったが、悪条件にもかかわらず大きな事故やアクシデントもなく、全体的にはまずまず進行できたと思う。しかし、個々の時間的コントロールは難しく、正確には進行することはできなかった。特に外国人のど自慢大会やファッションショーは、あらかじめ出演する予定だった人がぎりぎりになるまでこなかったりしてはらさされた。



外国人のど自慢大会で表彰状を授与するフェスティバル実行委員長の長谷川OB



霜村 忠(H8-1 ホンジュラス)

当日は、突然の強風にあおられたり、時折降る雨に見舞われたりと、悪条件の中での開催でしたが、エスニック料理出店テントは予定どおり国際色豊かにペルシャ料理やペルー料理のほか、タイ料理、メキシコ料理、韓国料理、インド・バングラデシュ料理などの6店舗が並び、それぞれに客足をひきとめようと客引きの声が聞こえていました。でも、フリーマーケットの状況はテントがない分、品物を広げられないこともあって、途中から帰ってしまったり、開店休業の状態だったりとかわいそうなことをしてしまいました。しかし、その状況であっても、根性で商売していた在日中国人の人たちには感心してしまいました。

ハイテクノロジーツアーに参加して

西山浩之(東京OB会)

ハイテクノロジーツアー担当の皆様、お疲れ様でした。とても楽しかったです。研修員との交流も有意義でした。一番心配していた言葉の問題もなく、逆に彼らの流暢な日本語に驚きました。個人的には、歴史の教科書で習った「生麦事件」の場所を10年以上前から一度訪ねたいと思っていました。時間がなく石碑を見る事が出来なかったのが心残りです。近日中に再訪したいと思います。



奈良貴子(H11-1 ケニア)

1月31日(土)、神奈川県海外技術研修員との交流を目的としたハイテクノロジーツアーを実施しました。神奈川県海外技術研修員は、タイ、カンボジア、中国、モンゴル、ウズベキスタン、インドの6カ国から集まった7名です。神奈川県内の衛生研究所や高等学校等で3月まで研修をしました。当日の朝は、あいにくの雨でしたが、参加は、神奈川県内だけでなく、東京からも申込みがあり、総勢26名が集まりました。午前中は、横浜市鶴見区にある東京電力横浜火力発電所「ツイニー・ヨコハマ」を訪れました。発電設備の運転操作を集中制御している中央操作室や地上180mのツインタワー展望室を見学し、電気の仕組みや

エネルギーについて学びました。

ツインタワーは、発電に使われた後の排気が出るところで、晴れた日には、展望室から富士山が見えるとのこと。昼食後、午後の見学先のキリン横浜ビアビレッジでは、ビールの製造工程(原料、仕込み、発酵・貯蔵、ろ過、パッケージング)を見学し、できたてのビールの試飲もしました。

短い時間でしたが、神奈川県海外技術研修員や参加者同士が交流を深めることができました。

第3回協力隊まつり

畦地崇敬(H14-1 ブルキナファソ)

4月25日、26日両日の協力隊まつりでは、皆さまのご協力をいただき大盛況に終わりました。お忙しい中KOCVの出展にご協力いただいた皆様には改めて感謝申し上げます。なお、JOCAによると来場者人数の集計結果は下記のとおりです。

第一日目… 665名

第二日目… 1,168名 二日間合計：1,833名

過去の2回と比較して大きな伸びが見られるとのこと。また、JOCAとKOCVとの協働で行っている森づくりの丸太切体験&バードコール製作コーナーも大好評でした。来年以降もKOCVでは協力隊まつりへの出展を続けていきますのでこれからもご協力のほどよろしくお願いいたします。



2009年度青年海外協力隊神奈川県OB会 通常総会のご案内

今年も下記日程で総会を開催いたします。今年は会長が交代します。新規事業も行ないます。日程調整して頂きできるだけ多くの協力隊OB、OGの方々に出席していただければ幸いです。

1. と き：2009年6月7日(日) 13:15~17:00
ところ：JICA 横浜国際センター会議室
http://www.jica.go.jp/yokohama/office/access.html
2. 進行
 - 1) 神奈川県OB会 通常総会 13:15~14:15
「森林プロジェクト報告会」も行います。
 - 2) 講演会 14:30~17:00
～帰国後の生き方を考えるシリーズ～
「自分からやる農業は面白い!・協力隊経験を生かして農業の分野で地域の課題解決に取組と神奈川県の農業の現実」

3. 注目の新規事業：

使ってください活動支援費：会員が主体的に企画実施する活動(他団体主催でも可)に対して、支援および助成を行う。最低2名参加するものを対象とし、KOCVの立場は主催・共催・後援・協力のいずれかで、資金助成(1案件につき30,000円以内)・会員への同活動の広報・参加呼びかけを行ないます。**フォトコンテスト**：JOCA主宰キャラバン隊事業の同時企画。協力隊での活動の一コマを送って下さい。HPへの掲載とまれなく参加賞として図書カード2000円増呈します。

特別企画講演会 ～帰国後の生き方を考えるシリーズ～

自分からやる農業は面白い!協力隊経験を生かして農業の分野で地域の課題解決に取組と神奈川県の農業の現実

講師紹介

伊藤達男氏(S51-1 ラオス 稲作)

協力隊員としてNGOとして、東南アジアの農村を駆け抜けた17年間。その時の志は今も変わることなく日本の中山間地域の農村へと活動の拠点を移しました。過疎化が進む茨城県常陸太田市(旧里美村)に家屋と農地を借りて始めた農業。協力隊の時と同様、地縁も販路も無いところからのスタートです。日本の農業における担い手の高齢化や農地の荒廃などの問題、日本は自然農業条件に言い換えれば、どの国々よりも恵まれているにも拘わらず、食糧自給率が40パーセントという輸入大国であり、自分たちの田畑を荒らしたままで、遠い地球の裏側から石油を使って農産物を運んでくる。スーパーには、選ぶのに苦労するほど豊富な食品が並ぶ一方、食べ残しや賞味期限切れなどの理由で食糧全体の25%が捨てられるという現実。農業・農村は衰退の一途を辿っています。伊藤氏は自給と販売を一体とした多品目栽培で、10種類ほどの新鮮な野菜を契約者に届け、農業や化学肥料は使わず健康と環境を考えた有機農業を実践し、後継者育成の活動にも尽力されています。

笠岡氏(神奈川県立かながわ農業アカデミー)

我々が住む神奈川県でも耕作地・者共に減り続けており、「神奈川力構想」に、「農業の多様な担い手の育成及び確保」の推進を明確に位置づけ、推進を図るための指針として、「かながわ農業活性化指針」を定めました。その関係実施機関としてかながわ農業アカデミーが新規就農希望者や農業者に対して、知識、経営状況に応じた、基礎から専門分野に至る研修教育を行い、また、新規就農希望者を対象とした就農相談から就農までの総合的な支援を行っています。今回はその神奈川での実情を語っていただきます。

帰国後、農業に携わってみようと考えている方。その意志はあっても土地などの条件が整わず断念している方。日本の農業に問題意識を持っている方。今までの専門とは全く別な事をしようと考えている方、等々。講演会だけの参加も受け付けます。ぜひお越しください。(尚、テーマは当日の流れで変わる場合があります)

皆様ぜひともご参加下さい。なお、参加を希望される方はinfo@kocv.jp又はtakano.tadahiro@gmail.comまで連絡ください。高野忠裕

ポスターキャンペーン



高野忠裕(H7-1 ラオス)
今年度も JOCA ポスターキャンペーンに参加しました。会員の皆様のおかげさまで、予定数 50 枚を大幅に上回る約 80 枚ほど神奈川県内に貼ることが出来ました。枚数もさることながら多くの方に関わっていただき、関心の高さにうれしく思います。ポスター自体は昨年度とは違って、オリジナルではなく JICA のポスターです。募集説明にあたって統一するためにはあるのですが、個人的には (JICA には悪いですが) 迫力に欠けるような気がします。やはり、どうせポスターキャンペーンを行なうのなら、神奈川県オリジナルで県出身 OV の活動を基にポスターを作成して行ないたいと思います。

皆様がいかがでしょうか。ご意見をお待ちしています。

使ってください 活動支援費の募集案内

神奈川の協力隊 OV が主体的に企画実施する活動(他団体主催でも可)に対して、支援および助成を行う。

1 案件につき 30,000 円以内の助成を行う。主担当と副担当の連名で申請(副担当がいなければスタッフから選ぶ)。活動終了後は ML 及び KOCV ニュースへ記事として簡単な報告を掲載。事務局は活動終了後に次年度以降も継続するか等活動状況を審議する。

活動名・日程(または予定時期)・場所・時間・主担当・副担当・参加見込人数・会員へ案内するための活動概要・支出項目・金額・KOCV の立場・活動における主担当の立場(等様式自由)記入の上、お申し込みください。営利を主目的としないもので、特定の宗教色が強いもの以外は原則助成します。また、助成以外にも、情報提供、会員への周知も行ないます。どうぞお気軽に応募ください。



定着型 ボランティア事業

やどりき水源林(足柄上郡松田町寄)にて行なわれている森林づくり定着型ボランティア活動にて間伐を行なう伊藤 OG と前田 OB、JOCA 鈴木さん

平成21年度春募集説明会速報

河野裕之(H14-3 ザンビア JICA 横浜ボランティア事業担当)

21 年度春募集に際し、神奈川県内各地でも、4 月初旬から、青年海外協力隊の“募集説明会”が開催されました。ここ数年、説明会参加者・応募者共に減少傾向でしたが、“派遣数 200 名増”の戦略に基づき、車内広告やラジオでの告知を中心に広報活動を行ってまいりました。また、各会場で多くの OV のご協力を賜り、前募集期よりも参加者数も増え、無事に募集日程を終了することが出来ました。今後はどれだけ“受験者増”に繋げるかが課題ですが、このような嬉しい悲鳴を挙げられるのも、ひとえに KOCV の皆様のご協力のお陰です。誠にありがとうございました。今後ともご協力の程、何卒宜しくお願い致します。

		平成 20 年度秋	平成 21 年度春
4/10	グリーンホール相模大野会場	78 名	108 名
4/12	JICA 横浜会場	120 名	159 名
4/20	藤沢産業センター	35 名	97 名
4/24	かながわ県民ホール	64 名	110 名

OV NOW

協力隊以後の私の人生

麻生 学(54-2 マラウイ)

東京アジアユースパラゲームズ

<http://www.tokyo2009.jp/>

KOCV 会員の皆様、こんにちは。神奈川の方にはあまり馴染みがないかもしれませんが、私は元々大分の出身で、現在大船に住んでいます。東京で開催される「東京アジアユースパラゲームズ」のアドバイザーをしています。今回はこの大会及び語学ボランティア募集の事を紹介いたします。

東京 2009 アジアユースパラゲームズは今年の 9 月 8 日から 14 日までアジア三十数カ国から 14 歳から 19 歳までの障害を持つ青少年が、陸上、水泳、卓球などの競技を競い合う国際総合競技大会です。アジア各国において障害者のスポーツはまだまだ普及の途上ではありますが、スポーツは障害者の自立と社会参加に大きな役割を果たすと考えられています。このような大会を東京が開催することは、この分野の先輩としての日本が果たすべき役割であり、各国は大きな期待を寄せています。

参加する各国の選手団には現地語に堪能な日本人ボランティアが求められています。(http://www.tokyo2009v.jp/)是非 JOCV の OB に皆様にご協力頂いて、参加する各国の障害者が日本のすばらしさを知るとともにアジアの障害者福祉の向上に目を開くお手伝いをして頂ければと思います。

寄付金納入者リスト(敬称略)

(平成21年1月～3月末)

ご協力ありがとうございます。収めていただきました寄付金は有効に使わせていただきますので、今後ともよろしく願いいたします。

- | | |
|-------|-------|
| 徳永 達也 | 本田 維宏 |
| 西島 睦宣 | 大原 淳裕 |
| 小室 雅彦 | 池田 道宣 |
| 山崎 有通 | 市川 澄雄 |
| 井上 俊彦 | 檜垣 明弘 |
| 森山 貴 | 豊口 靖子 |
| 若林 弥生 | 佐々木明男 |
| 田中かつ子 | 樋口由加里 |
| 河村 晃依 | 霜村 忠 |
| 後藤志津子 | 三浦 和 |
| 藤井 敏 | 大塚 敏 |
| 石渡 善雄 | 松田バウロ |
| 宮原 裕二 | 大津 留昭 |
| 小島 海治 | 高橋 恵子 |
| 松崎 健太 | 岡村 義雄 |
| 鈴木 宏尚 | 吉田 悌 |
| 入部 和也 | 岡部 健 |
| 八賀 伸治 | 植村 卓 |
| 武下 悌治 | 西川 知子 |
| 栗田 宣典 | 長谷川 真 |
| 松山恵理子 | 山本 武人 |
| 雑賀 雅人 | 田中 秀幸 |
| 山田 賀子 | 榎原 昌己 |
| 牧野 恭子 | 小林 慶子 |
| 大平 達雄 | 塩尻 章博 |
| 山口 猛 | 須賀 元泰 |

KOCVパッケージの募集案内

昨年はパナマフェアトレード品の現地調査に行きました。要するに「難しい審査など無く」「比較的気軽に」「元任地などへ」の帰国後の活動に対して、「KOCVの予算」から助成を行なうというプログラムです。

条件としては 三つあります。

1. 物を送る場合、送り先が 元任地などの途上国で個人ではなく 団体であること。
2. どのような目的で活動するのか 目的を明確にしておくこと。
3. 結果報告を必ずしていただくこと。

以上該当する企画がある方はお気軽にお声掛けて下さい。

協力隊フォトコンテスト

「協力隊応募促進支援キャンペーン(関東キャラバン隊)事業」同時企画

平成 19 年度、青年海外協力隊応募者の大幅減を受けて、(社)青年海外協力協会(JOCA)では「協力隊応募促進キャンペーン」(キャラバン)事業を行っています。この事業は地球模様の特製のキャラバンカーで全国各地を行脚し、自治体の表敬訪問やイベント会場で、協力隊事業への理解を深め、応募を促進するための PR 活動を行っています。いよいよ来神するところですが、KOCV ではキャラバン事業の趣旨に賛同し、県内の協力隊 OV にも広く参加する機会を提供し、任地での協力隊経験を多く報告する機会を増やすことを目的に「協力隊フォトコンテスト」を開催します。

【意義・目的・概要】

- ①県内では青年海外協力隊の名称は知られているが、実際の活動を知っている方や、OV に会ったことがある方が協力隊の認知度の割に少ない。会った事がある方でも活動については知らない事が多い。
- ②隊員としての 2 年間の活動は貴重な経験であるが、その活動を終えた OV の持っている体験を公開する機会が少ない。ホームページで写真を公開する事により、実際の協力隊の活動を地域社会へ伝える第一歩になると考えられる。
- ③IT 化の進展に伴い、HP を通じて低コストで広く一般に公開しやすくなった。

以上の事を鑑み、このコンテストによって協力隊の実体験を広く伝達し、それが協力隊 OV や神奈川の地域社会にとっても意義があり、併せて協力隊応募促進に繋がると期待し、本案を企画する。

【応募方法】

〈写真のテーマ〉協力隊員として活動している時に写したあなたの思い出を送って下さい。隊員活動の一コマ、任地の風景・街・市場、任地の風俗・習慣・祭、配属先 等々をテーマにしてください。

〈必要項目〉応募作品は写真 1 枚以上何枚でも可、それぞれの写真に①写真の説明、を付けて下さい。ほかに活動全体の説明として、②隊次・任国・職種、③活動時期、④任地・配属先、⑤要請背景・活動内容、⑥出身地及び神奈川県との関係、⑦連絡先(参加賞を贈るため及び連絡用に必要、これだけは非公開とします)も写真と一緒に送って下さい。

【受付方法】 上記必要項目を記入の上、電子メールでのみ受け付けます。写真は添付ファイルにて、必要項目はメール本文に記入ください。

写真現物しかない場合、無用なトラブルを避けるため、スキャナー又は写真店にて CD 焼付けサービス(基本料 300 円 +1 枚 30 円程度から)を利用してデータにして送付ください。

【応募期間】 平成 21 年 5 月 1 日から 8 月 31 日

【応募資格】 神奈川県在住、出身または神奈川県にゆかりのある協力隊 OV

【賞・賞品】 応募者全員に参加賞のみ贈呈。国内在住の方は図書カード 2000 円分/人。現役隊員・在外の方には日本食セット 1000 円分。※ただし、複数回応募しても参加賞は 1 回のみとさせていただきます

【応募先及び問い合わせ先】 青年海外協力隊神奈川 OB 会(KOCV) info@kocv.com または KOCV 事務局 高野 忠裕 takano.tadahiro@gmail.com まで送付願います。

【応募作品の活用方法】

・KOCV の HP (http://kocv.jp/)へ協力隊活動展示ギャラリーを開設・展示する。

・写真展や独自ポスターを作る素材に活用。

以上が主な活用方法ですが、このほかに以下のような事も考えられます。

・メディアへ協力隊の活動を広く紹介し易くする。

・出前講座と連動、講師のプロフィールや活動の簡単な紹介に使う。

※尚、送付頂いた個人情報については上記の目的以外には使用しません。応募される方は少なくとも HP に掲載される事はご了承下さい。HP 以外の写真の利用に当たっては事前に確認の連絡を行います。

平成 21 年度事業予定 (案)

月	日	事業名	場所	主担当
4	11	森林づくり定着型ボランティア事業(以下森林 P) WG 会合、間伐・森の身体検査作業(～12日)	松田町寄	前田・畦地
	19	会計監査	JICA 横浜	高野・はんど
	25	協力隊まつり(～26日)	広尾	畦地・長谷川
	26	定例会	JICA 横浜	JICA 事務局
	30	KOCV ニュース発行	横浜	北・事務局
5	10	JOCA 関東ブロック会議(キャラバン)	広尾	高野・畦地
	11	JOCA 森林 P 打合せ	広尾	畦地・高野
	17	あーすフェスタ(～18日)	本郷台	長谷川・奈良
	24	中学生エッセイコンテスト担当者会議	JICA 横浜	竹内
	30	全国植樹祭プレ植樹祭(森林 P WG 会議)	秦野	畦地・高野
	30	JOCA 「平成 21 年度第 1 回評議員会」・「第 2 回通常総会」(～31日)	広尾	畦地
	31	定例会	中央林間	事務局
	31	神奈川県 NGO 国際協力委員会議	本郷台	高野
6	7	通常総会・講演会	JICA 横浜	事務局
		21 年度 1 次隊派遣隊員との壮行会	横浜	
7	下旬	ビーチクリーンアップ作戦(海岸清掃活動)	辻堂	中西
	1～20	横浜市 Y150 博覧会 ヒルサイド	横浜市	
8		帰国歓迎会	横浜	事務局
		プレゼンススキルアップセミナー	横浜	兼平・事務局
9	5	横浜国際フェスティバル(～6日)	横浜	中西・吉永
		21 年度 2 次隊派遣隊員との壮行会	横浜	
		JICA ボランティア家族連絡会	横浜	
10		中学生エッセイコンテスト 2009 一審査	横浜	竹内
		協力隊秋募集 応募促進	県内	JICA と協議
	5	グローバルフェスタ(～6日)	日比谷	
11		KOCV 版募集説明会	横須賀	柳本
		KOCV ニュース発行	横浜	北・事務局
12		21 年度 3 次隊派遣隊員との壮行会	横浜	
		JOCA 評議員関東ブロック会議	群馬	畦地・事務局
1	24	JOCA 平成 21 年度第 2 回評議員会、新春交流会(～25日)	広尾	畦地
		帰国歓迎会	横浜	福岡・事務局
2		ハイテクノロジー見学ツアー	横浜	長谷川
3		20 年度 4 次隊派遣隊員との壮行会	横浜	
		やまと国際フェスティバル	大和	長谷川
年間を通して実施		ホームページ・ML 管理運営	インターネット	光田
		定例会	JICA 横浜	事務局
		KOCV パッケージ	事務局	事務局
		使ってください活動支援費	事務局	事務局
		森林づくり定着型ボランティア	前田・畦地	
		キャラバン・フォトコンテスト	高野	
		NGO 国際協力会議	高野	